



東日本ユニオンにいがた

http://niigatachihon.yukigesho.com/

JR東日本労働組合新潟地方本部

2024年8月1日発行

第1号 (通巻第321号)

発行者: 星山 圭 編集者: 教育・広報部

全組合員の組織力で東日本ユニオンをさらに強化・拡大しよう!

JR東日本労働組合新潟地方本部は7月29日、新潟市の万代市民会館において、第13回定期大会を開催しました。

大会構成員、傍聴者あわせて約140名の組合員の結集のもと、この1年間の取り組みを振り返ると共に、向こう1年間の運動方針を確立しました。



JR東日本労働組合新潟地方本部 第13回定期大会

結成以降培ってきた組織の力をもとに JR労働者の団結を創り出そう

新潟地方本部 星山執行委員長あいさつ

この1年間、東日本ユニオンの運動を共に創り出してきた組合員、ユニオンの運動に賛同してくれた仲間らに感謝を申し上げる。被災した組合員を支援を頂いた。

被災した組合員から「互いを支える組織に加入していることを誇らしく思う」とのメッセージを頂いた。今後も被災した組合員に寄り添い、支えていく。

2024春闘は、会社側が提案してきた夏季手当との同時議論に対して「議論時期ではなく納得いく支給額を求めている」「賃金支給の抑え込み手法とされるのが予想される」として春闘に集中して取り組むことができた。

要求額に近い回答を引き出し、労働組合側の勝利を確認できたことで、東日本ユニオン全体で取組む統一行動の重要性を確信できた。

夏季手当の取り組みは1・0ヶ月の追加支給を求め、短期間の中でも東日本ユニオンの要求と根拠を広く伝えることができた。

本部の団体交渉では、第3四半期決算をベースに判断したこと、期末決算までの社員の苦労や成果は十分に考慮されていないことを明らかにした。この事実をどれだけ社員が知っているのか。年末手当、春闘に向けて次の組織拡大を目指す。

労働時間の改ざんによる賃金未払いの問題は、未だに納得できる解決に至っていない。21年間にわたり、毎日正しい労働時間が付与され



ていなかったことが団体交渉で明らかになった。そのうち3年分だけを一方的に会社が決めた精算方法で支払い、他の社員には説明もなく幕引きを図ろうとしている。決して

うやむやにさせない。異動に伴う高額な通勤手当の戻入の問題については要求が実現した。組合員の声から要求へ高め、団体交渉を通じて改められた。今後も含めて、どれだけ多くの社員のためになるか。積み重ねてき

10年後の組織展望を描き JR労働者の大同団結実現を

中央本部 藤本中央執行委員長 来賓あいさつ

来賓として中央本部より、藤本中央執行委員長、阿部総務担当部長、本山組

織担当部長に出席いただき、藤本中央執行委員長より挨拶をいただきました。

東日本ユニオンは2013年に結成した。結成はゴールではなくスタートであり、組織は大きく成長した。10年前に描いた姿と比べ今はどうか。10年後に向けて創造していこう。

2024春闘は、他の労働組合で夏季手当との同時議論が進められる中、統

一行動をつくり出し、会社側の慎重論を覆して要求に近い額を引き出した。春闘勝利を確認する。

一方で夏季手当の2・7ヶ月は明らかに不足だ。東日本ユニオンにも不満の声が多く寄せられた。同時に議論は労働者に富をもたらしたのか? 会社の本質や欺瞞性を暴き出しつつ年末手当勝利に向けてたたかいをつくり出す。

京葉線のダイヤ改正やみどりの窓口廃止など、一度打ち出した施策の見直しが相次いでいる。社会や地域とかけ離れた施策だ。スピード感を持って対応

た取り組みで培った団結力が会社を動かした。皆さんにとって東日本ユニオンはどのような組合であり、どのような組合であるべきか。これから皆で行動し進んでいくために一つのテーマとして語り合おう。

組みなど、多彩な視点から発言がありました。また、東日本ユニオン結成当時の教訓や、10年を経た中での成果、想いなど、結成10周年の大会だからこそその発言もありました。運動方針案や予算案などすべて満場一致で可決・承認され、新たな一年のスタートを切りました。

することに異論はないが、放漫な経営により社会や地域から見放されるわけにはいかない。

みなさんの運動により、多くの未加入の社員に労働組合の必要性を感じてもらえている。JR労働者のための大同団結を実現していこう。

2024春闘は、他の労働組合で夏季手当との同時議論が進められる中、統

一行動をつくり出し、会社側の慎重論を覆して要求に近い額を引き出した。春闘勝利を確認する。

一方で夏季手当の2・7ヶ月は明らかに不足だ。東日本ユニオンにも不満の声が多く寄せられた。同時に議論は労働者に富をもたらしたのか? 会社の本質や欺瞞性を暴き出しつつ年末手当勝利に向けてたたかいをつくり出す。



第13回定期大会